



北杜市立 甲陵高等学校



所在地 〒408 0021 北杜市長坂町長坂上条2003番地
電話 0551 32 3050
FAX 0551 32 5933
URL <http://www.yamanashi-koryo-h.ed.jp/>
E-mail koryo@yamanashi-koryo-h.ed.jp
創立 昭和32年4月1日
課程 全日制・単位制
利用交通機関 JR中央線長坂駅より徒歩12分
教員数 34名(正規)
生徒数 357名

学科名	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	54	66	51	70	56	60

校訓

立志躬行

「立志」とは「志をたてること」、「躬行」とは「自らを実行すること」を意味します。甲陵高校は、生徒一人一人が高校生活3年間という時間の中で、自分の将来像を描き、そしてその将来像に一步でも近づいていけるように、全力でサポートしています。

将来像を見据えた教育

甲陵高校の生徒はほとんどが大学進学を目指しており、東京大学、京都大学を始め、難関国立大学や有名私立大学に多数合格しています。このような生徒の目標実現を手助けできるように、甲陵高校は万全のサポート体制を整えています。

目標を見つける

適切な進路選択ができるように、様々な情報を生徒に提供しています。実際に働いている社会人の方と話をする「キャリアトーク」やボランティア活動を通して、自分の将来像を作り上げていきます。また、1年次には東京大学をはじめとした国公立大学の見学会を実施しており、2年次には生徒一人一人が自分で大学を選んでオープンキャンパスに参加し、高校卒業後の目標を明確にしていきます。

平成24年度から文部科学省より、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定され、現在2期目です。

少人数クラスでの細やかな指導

1クラスの人数は30人を基準としており、学級担任は細やかに一人一人の生徒と向き合っています。また、生徒と学級担任との面談も頻繁に行われ、高校生活や進路選択が円滑に進むようにサポートをしています。

密度の濃い授業

授業は1日90分4コマで行っています。90分と聞くとかなり長い授業時間だと思かもしれませんが、その分1つ1つの授業内容が細切れになることがなく、授業内で考えを深めることができる密度の濃い授業を受けることができます。

学習内容が定着しやすい校内試験

甲陵高校では、定期試験期間を設けていません。その代わりに、毎週2ないし1科目ずつ試験を行っています。毎週試験があると聞くと、大変そうに思うかもしれませんが、短いサイクルで試験を行うので、1つ1つの試験の範囲が狭く、着実に学習内容が定着するようになっていきます。また、試験回数が多いことで、教員も生徒の学習状況をつぶさに知ることができ、授業内容へのフィードバックに役立てています。

幅広い授業選択

従来、授業で教員を選ぶことはできませんでしたが、甲陵高校では同一科目を担当する教員の中から、自分で教員を選んで学ぶことができる講座選択制がとられています。教員も生徒に選ばれるため、教員同士の切磋琢磨にもなっています。

自主性を伸ばす教育

自分たちで作り上げる生徒会活動

甲陵高校では、1年のうち3日「生徒会の日」という行事日があり、この3日に何をするかは全て生徒に委ねられています。球技会を実施する場合は、試合日程、審判、選手の選出などを、音楽演奏会を実施する場合には、プログラム、照明、リハーサルなどを全て自分たちで考えて作り上げています。

また、部活動も生徒自らが考えて行動することを重視しており、充実した課外活動を過ごしています。

<運動部>

弓道・卓球・テニス・男子バスケット・男子ハンドボール・女子ハンドボール・フェンシング・野球・陸上

<文化部>

科学・演劇・合唱・写真・将棋・書道・吹奏楽・箏曲・茶道・ディベート・美術・文芸・ユネスコ

<同好会>

ESS・コンピュータ・バレーボール・かるた・軽音楽・生命科学・バドミントン・女子バスケット・サッカー

ゼロから作る学園祭

例年、6月下旬に3日間「紫蝶祭」という学園祭を行っています。この紫蝶祭も、テーマの設定、ステージ発表、模擬店、スケジュール管理などを全て生徒の手で行っています。1年前から企画立案が始まり、最後には全校生徒が一致団結して、感動のフィナーレを迎えます。

自分で選ぶ修学旅行

2年次に修学旅行が行われますが、甲陵高校の修学旅行は複数のコースの中から自分の好きなコースを選びます。今まで、修学旅行を実施したコースとしては、海外はアメリカ・中国・韓国・シンガポール・タイ、国内は関西・広島・沖縄・九州・屋久島などがあります。

また、少人数での修学旅行となるので、大人数の旅行では見られないような場所へ行けることもあります。

過去3年間の大学進学先（五十音順）

主な国立大学

愛知教育、愛知県立芸術、秋田、茨城、岩手、大阪、お茶の水女子、鹿児島、金沢、京都、京都工芸繊維、群馬、埼玉、静岡、静岡県立、首都大学東京、信州、高崎経済、千葉、筑波、都留文科、東京、東京医科歯科、東京外国語、東京学芸、東京工業、東京農工、東北、富山、名古屋、名古屋工業、奈良教育、奈良女子、新潟、新潟県立、一橋、弘前、広島、北海道、山形、山口、山梨、山梨県立、横浜市立、横浜国立、琉球など

主な私立大学

青山学院、学習院、神奈川、金沢医科、金沢工業、関西、関西学院、北里、共立女子、慶應義塾、恵泉女学園、國學院、国際基督教、駒沢、国際医療福祉、埼玉医科、産業医科、芝浦工業、成蹊、聖心女子、聖マリアンナ医科、中央、津田塾、東海、東京家政、東京女子、東京電気、東京薬科、東京理科、同志社、東洋、獨協、日本、日本女子、フェリス女学院、文教、法政、武蔵野、明治、明治学院、明治薬科、山梨学院、立命館、早稲田など

必要最小限の校則

甲陵高校には、いわゆる校則が必要最小限しかありません。例えば、女子の制服は、品位のあるエンブレム付きの紺のブレザーにチェックのスカートです。スカートの色は自由です。ブラウスも色は白と決まっていますが形や素材は自由です。また、靴下やネクタイなどの着用も自由です。これは、高校生らしい装いができる感性を養うことも大事な勉強と考えているからです。そして、こうしたことを通して本当の自由ということを学び、豊かな感性と高い徳性を培って知性の輝きに満ちた楽しく・美しい学校生活を送って欲しいと願っています。



左上：紫蝶祭、右：制服

左下：修学旅行（アメリカ・ハーバード大学）

自律した生活を送る学生寮

自宅からの通学が困難な生徒のために、学生寮があります。この学生寮は従来の学生寮とは違った発想の上に立っており、バス・トイレ・エアコン・ロッカー・ベッド・机・書棚完備の全個室です。また、図書館のような学習室があり、寮生は日々学習室も利用しています。全員で、約20人という少人数の上、直接本校の職員が宿泊して指導にあたりますので、清潔でプライバシーの尊重された生活を送ることができます。